

自社開発の蓄電池用ゲートウェイ機器 セキュリティラベリング制度 **JC-STAR★1** を取得

デジタルグリッド株式会社（本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO:豊田祐介、以下「当社」）は、自社開発の系統用蓄電池用ゲートウェイ機器（名称:digitalgrid-gateway-device）について、IoT製品を対象としたセキュリティラベリング制度 **JC-STAR**（Labeling Scheme based on Japan Cyber-Security Technical Assessment Requirements）の適合ラベル（レベル1）を取得しました。

(<https://www.ipa.go.jp/security/jc-star/list/jc-star-product-list/index.html>)



JC-STAR とは

近年デジタル化が進む中、IoT製品の脆弱性を狙ったサイバー脅威が高まってきていることから、2025年に経済産業省と独立行政法人情報処理推進機構（IPA）により始まったセキュリティラベリング制度です。求められるセキュリティ基準に応じてレベル1から4まで分けられています。

自社開発のゲートウェイ機器

ゲートウェイは蓄電池と外部システムとの通信・制御を行う機器のことで、当社開発の「digitalgrid-gateway-device」は多様な蓄電池に対応できるのが特徴で、一次調整力商品を含む全ての商品に対応しています。

当社は今後も、セキュリティ基準を満たした製品を提供し、お客様に安心してサービスを利用いただけるよう取り組んでまいります。

会社概要 ▶25年4月 東証グロース市場上場 ▶令和6年度 新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞」

会社名：デジタルグリッド株式会社 (<http://www.digitalgrid.com/>)

代表者：代表取締役社長 CEO 豊田祐介 【東証グロース市場 350A】

設立：2017年10月 資本金：1,139百万円 従業員数：89名（11月1日現在）

所在地：東京都港区赤坂1-7-1 赤坂榎坂ビル3階

事業内容：電力及び環境価値取引プラットフォーム「DGP」運営、分散型電源アグリゲーションサービスの提供